

教保体第1297号
平成28年10月3日

各市町村教育委員会教育長
各 県 立 学 校 長
各 教 育 事 務 所 長 } 様

埼玉県教育委員会教育長

積極的な気象情報の入手と活用について（通知）

日頃、児童生徒の安全確保につきまして、御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、台風や上空の寒気等が秋雨前線を活発化させ、これからの季節も、大雨、雷、突風や竜巻等による被害が予想されます。各学校では気象状況の急激な変化を把握し、危険を回避する迅速な対応が求められます。

つきましては、局地的大雨、落雷、突風・竜巻等による事故を未然に防ぐために、別紙を参考にして、これまで以上に積極的な気象情報の入手と活用による安全確保の徹底をお願いいたします。

なお、市町村教育委員会に置かれましては、貴管下各学校等に周知くださるようお願いいたします。

埼玉県教育局県立学校部保健体育課
健康教育・学校安全担当 渡部 順一
TEL 048-830-6964
FAX 048-830-4971

1 気象情報の入手

- (1) 天気予報と気象に係る警報、注意報等の確認
気象庁の天気予報（毎日5時、11時、17時に発表）をテレビ、ラジオ、気象庁ホームページ等で確認できる。
ア 気象状況で危険がある場合には、警報、注意報が発生予想の数時間前から随時発表されるので、特に注意する。
イ 携帯端末（スマートフォン、タブレット等）、簡易型雷探知機等を活用すると、部活動や校外行事等の屋外での活動中でも、適宜気象情報を入手することができる。
- (2) レーダー・ナウキャスト（気象庁ホームページ）での確認
ア 校外行事や部活動等、屋外で活動する場合は、レーダー・ナウキャストで、強い雨、雷、竜巻の状況や予報を把握することができる。
イ レーダー・ナウキャストでは、気象庁が発表する最新の気象状況を確認することができる。これは、気象状況毎に以下の3つがある。
・「降水ナウキャスト」（雨の降る場所や強さを表す。）
・「雷ナウキャスト」（雷の発生場所や激しさを表す。）
・「竜巻発生確度ナウキャスト」（竜巻等の激しい突風のおそれがある場所や確率を表す。）
- (3) 高解像度降水ナウキャスト（気象庁ホームページ）での確認
実況に近い強雨域を確認できる。また、降水の強さと雷活動度や竜巻発生確度を重ね合わせた情報が入手できる。
- (4) 目視、聴覚等での確認
ア 真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
イ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
ウ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
上記のような気象の変化を察知したら、急な大雨、雷、竜巻の危険がある積乱雲の発達が予想されるので、すぐに避難する。

2 活用方法の例

- (1) 「雷注意報」、「竜巻注意情報」等、自然災害につながる気象情報を入手したら、全校に周知する。
例1 朝の職員打ち合わせや日報等で、全職員に周知する。
例2 職員室前面に設置されている黒板に表示する。

※ 記載例 発表 雷注意報 10月3日昼前から4日未明まで 付加情報 竜巻、ひょう
--

- 例3 校舎内複数個所に、移動式案内板を配置し表示する。
例4 発令されている注意報等を、校内放送で知らせる。
例5 小旗や案内板等の設置で、警報や注意報の発令を運動場等の屋外に周知する。

(2) 部活動や校外行事等、屋外で活動する場合の対応例

(例) 14時から16時に屋外で行動する場合

時刻	チェックすべき気象情報	先生や保護者の対応
前日	天気予報	明日の天気予報やその解説を確認し、積乱雲が発生しやすい気象状況かどうかを把握
当日 朝	天気予報	キーワード 「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」
昼	雷注意報 (※1) (随時発表)	朝と昼の天気予報を確認し、行動時の気象状況をイメージ
	天気予報	外出の前に、最新の気象情報を確認し、「雷注意報」の有無を調べる
	降水短時間予報 (6時間先までの雨を予想した分布図を30分毎に更新)	屋外では空の様子に注意し、携帯端末で最新のナウキャストなどを随時確認
14時 ↑ 戸外 ↓ 16時	竜巻注意情報 (随時発表、向こう1時間限り)	高解像度降水ナウキャスト 雷ナウキャスト 竜巻発生確度ナウキャスト
	ナウキャスト (降水、雷、竜巻) (雨雲などの現在の様子や、1時間先までを予想した分布図を5～10分毎に更新)	空の様子に注意し、積乱雲が近づく兆しを感じたら、しばらく避難！ 自分の身は自分で守る！

(※1) 雷注意報では、「急な強い雨」「竜巻」への注意を呼びかける場合があります。

気象庁リーフレット「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」より

3 安全確保のため留意点

- (1) 教職員が、屋外で指導中の場合は、雲の動き等の気象状況に留意し、発達した積乱雲を見つけたり雷鳴が聞こえたりした場合は、直ちに屋外にいる児童生徒を校舎内等の建物に避難させ、安全を確保する。また、管理職に報告し、気象情報の共有化と共通指導で全校の安全対策を実施する。
- (2) 気象情報は、屋外の活動だけでなく児童生徒の登下校時の安全確保にも活用する。下校時に気象状況が急変した場合は、無理に下校させず、校内待機や集団下校、保護者への引渡しなどを実施する。
- (3) 部活動（校外での練習や練習試合等を含む）や校外活動を実施する際は、気象の急変による計画の変更や中断・中止の判断基準と、それを判断する責任者を事前に確認しておく。
また、万が一の場合の避難方法やAED設置場所等の確認等、安全対策を万全にしておく。
- (4) 部活動等で他校と共に活動する場合は、予め前述の(3)内容を各校の責任者、引率者間で共通理解し、共通行動がとれるようにする。

【参考】

○通知

- ・「自然災害発生時の児童生徒等の安全確保について（依頼）」
平成27年6月17日付け教保体第621号
- ・「落雷事故の防止について（通知）」
平成28年7月19日付け教保体第765号
- ・「落雷事故防止の徹底について（通知）」
平成28年8月5日付け教保体第926号

○熊谷地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/kumagaya>

- ・「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」（リーフレット）
- ・「急な大雨・雷・竜巻 ナウキャストの利用と防災」（リーフレット）
- ・「竜巻から身を守る～竜巻注意情報～」（リーフレット）